

(別紙2)

令和3年度愛媛県 NPO 法人育成支援事業 【地域協働推進活動助成】企画提案書

令和3年5月24日

次のとおり、標記事業について企画提案書を提出します。

申請団体名	特定非営利活動法人アクティブボランティア二十一
総事業費及び 希望する県補助金額	総事業費 315,000円 (うち希望補助金額 300,000円)
事業概要	申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 「今の代表者がいなくなった後の団体の継続運営について」をテーマに代表同士の交流座談会を開催する。交流座談会では、このテーマについて話していただく方から実際の事例を話していただいた後に、意見交流を行い、団体の継続を促す。 また、愛媛県内で対応できるようにオンラインで行い、場所の制約をなくし、参加しやすい状況にする。
事業実施期間	交付決定日から 令和4年2月28日まで

1 目的・目標	(1)事業の背景となる地域の課題やニーズ等について記載してください。 今回の事業背景 中間支援事業を進める中で、団体の代表者より、事業承継の相談は、少ない。事業環境や組織体制が異なっており、困難な問題であるが、事業年数も長く、安定している団体の活動が途絶えてしまうと社会的な損失となりえる。 今回のテーマを「今の代表者がいなくなった後の団体の継続運営について」にして、NPOの継続について考えることを皮切りに、NPOの組織運営の強化を図る。
	(2)課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 ◎NPOの継続についての事例解説 他団体の事例を知り、自分の団体に当てはまるのか等考える。 ◎代表同士の意見交流会 他団体の共通点や相違点を知ることで、自団体の組織運営について客観視ができる。
	(3)事業の目標(地域課題の解決の支援に係るモデル的な事業を実施することで期待される成果)を記載してください。 ◎事業の継続について考えることで、組織の方向性が固まる。 ◎団体同士のネットワークの強化
	(4)目標達成のために工夫する点を記載してください。 ◎単なる講座ではなく、代表同士の意見交流会も行い、代表者個人の考え方を刺激し合うため。
2 実施体制	貴団体及び協働して事業に取り組む各主体等を含めた事業の実施体制について記載してください。 アクティブボランティア21を中心に以下の地域を担当する中間支援組織に今回の事業を広めてもらう。 ●中予地域 まつやま NPO サポートセンター ●東予地域 西条市民活動センター ●南予地域 八幡浜みなっと
3 スケジュール	事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でも差支えありません。)

	<p>8月 広報開始 各センターとの調整</p> <p>10月 1回目交流座談会実施 福祉系の団体の方が事例発表予定</p> <p>12月 2回目交流座談会実施 地域活性化系の団体の方が事例発表予定</p> <p>2月 3回目交流座談会実施 1回目と2回目からの座談会の話合われた内容を、深掘りする。</p>
--	--

※記入欄が不足する場合は、適宜、枠を広げてください。

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
愛媛県NPO法人 育成支援事業費補助金	300,000	
団体負担金	15,000	
収入計	315,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
需用費	145,000	タブレットPC 40,000×3台 用紙などの消耗品 5,000円 講師用の照明機材や音響機材 20,000円
報償費	80,000	事例発表者の謝金 40,000円×2回分
使用料及び賃借料	90,000	会場の使用料 6,000円×3部屋×3回分 モバイルwifiルーターレンタル料金 4000円×3台×3回分
支出計	315,000	

※1 申請しようとする事業に関する収支計画(見込)を記載してください。

※2 団体の全事業に係る計画ではないのでご注意ください。